

今年も住民税の増税、くらしは大変……。あなたの思いを

託して
ください

日本共産党の市議へ

9月23日
選択のとき

日本共産党は力をつくします

国保税引き下げ

介護の負担軽減を

高すぎる国民健康保険税を引き下げます。国・県の国保財政への補助を増やすよう力をつくします。

介護保険料・利用料の減額免除制度をつくり、負担を軽減します。特養ホームの待機者（約200人）をなくすための施設の増設・増床にがんばります。

福祉サービス券を発行し、介護、福祉で使えるようにさせます。

後期高齢者医療制度の凍結・見直しで高齢者負担を軽減させます。

来年4月より、75歳以上の高齢者全員から年額7万5千円の保険料が徴収されます。過大な負担増が大問題に。

子どもの医療費

小学校卒業まで無料に

七月より就学前までの子どもの医療費が全員無料になりました。さらに小学校卒業するまで無料化を拡大させます。

学童保育所の大規模化の解消に支援を強化させます。

私立高校生の授業料助成を増やし対象を拡大させます。



さくらんぼ「雨よけテント」の新設、建てかえに市独自の助成を

住宅の耐震診断、リフォームへの助成制度をつくらせます。小規模修繕等希望者登録制度の事業額を引き上げさせます。障がい者の応益負担の撤回、自己負担を軽減させます。学校給食に地場産農産物をさらに使用させます。天童病院を健康と命を守る砦（とりで）にします。

税金は、くらし・福祉を最優先に

国保税の1世帯あたり1万円引き下げ、子どもの医療費を小学校卒業まで無料にするには、約1億6千万円必要です。

これは、市財政（歳入）の1%にも満たない金額であり、その気になれば実現できます。税金は、くらし、福祉にこそ優先して使うべきです。



憲法9条とくらしを守る願い

日本共産党市議へ

問われるのは

日本共産党のアンケートに、多くの方が「生活が苦しくなった」と回答し、国保、介護の負担軽減、子育て支援を求める声がたくさん寄せられました。くらしが大変なとき、負担増にまったをかけ、くらし、福祉を守り、がんばる議員を選ぶときではないでしょうか。澄んだ目で見て選んでください。



くらし、福祉を守り全力

日本共産党2人の市議団

みんなの願い市政に届け実現する議席です

日本共産党市議は、市民の願いを議会に届ける一般質問を欠かさず行い、その内容も、国保、介護、子育て、農業など、くらしにかかわる切実なものばかりです。さらに「天童民報」を発行し、市政や議会のことを知らせてきました。

力あわせ実現

小学校就学前の子ども全員が医療費無料に
すべての小学校に学童保育所を設置
資源ゴミ、燃やせないゴミを定曜日収集に改善
サクランボ雨よけテントへの融資制度を創設
小規模修繕等希望者登録制度の創設

増税にきつぱり反対 市民負担を軽減する議席

国保、介護、住民税 あいつく増税・負担増に、市民は悲鳴をあげています。
日本共産党市議団は、国保税、住民税の増税条例など、庶民大増税に、くらしが大変なとき「負担を減らすことが政治の責任」と反対をつらぬき、負担軽減策を提案し、実現をせまってきました。



子どもや高齢者、病人のいる世帯から、国民健康保険証をとりあげさせないできました
介護の負担軽減を求め、自立者のサービス利用の実施、介護者激励金7万円を継続させました
議会で「障害者自立支援法」による負担軽減を求め、障がい者団体の方々と市交渉を行い、通園バス代の補助が実現しました。

他会派の市議

チェック機能どこに…



選挙のときは、どの候補者も、くらし・福祉を守ると言います。しかし、国保税の引き上げ、介護保険の負担増、住民税の増税条例など、増税・負担増に日本共産党以外は、すべて賛成。さらに「ゆびあ」の入浴料を300円に値上げ。

くらし、福祉の充実…などと言いながら

国保・介護・住民税の増税 ムダ使いに、すべて賛成—他市議

その一方で、「鍬ノ町」22億円、その維持費に毎年1千万円使い、今度は、見通しのないJR新駅の調査費315万円をムダ使いしました。

これに反対・見直しを求めたのは日本共産党だけ。他の議員は、すべて賛成・推進です。これでくらし、福祉を守り、議会をチェックする役割が果たせるでしょうか。

身近な相談相手として、ただちに行動する議員

生活相談—4年間で400件以上

医療、介護、サラ金、雇用などの生活相談が寄せられ、弁護士や専門家の協力を得ながら、親身な相談に取り組んできました。4年間で400件をこえ、格差と貧困が広がる中で「命綱」の役割を發揮。

台風被害—ただちに救済を申し入れ

台風9号(9月7日)による農作物などの被害総額が約9億8千万円になります。日本共産党市議団は、すぐに現地調査を行い、10日、市長に「万全な救済対策」をとるよう申し入れ、被害農家の負担軽減や山寺堰の溢水対策など、ただちに実施すると確認。